

令和2年度 第1回西淀川区教育行政連絡会議事要旨（佃中学校）

日 時：令和2年4月27日（月）14:30～15:00

場 所：佃中学校 校長室

出席者：（学校） 佃中学校長

（区役所） 中島区長

横内こども福祉担当課長・向井保健福祉課担当係長

【次第に沿って区役所より説明】

○意見交換要旨

佃 中：近くに助けてくれる人がいればまだしも、完全に孤立した状態の子からすれば、この自粛期間はしんどいと思う。

成績に関しては、去年は良かったが、基本的には大阪市平均の少し下くらい。学校が実際に始まっていないので課題等がなかなか見えてこない。学校が始まって事情が分かってくれば、区役所への質問やお願いが出てくると思う。学校がいつ始まるのかわからないので、教職員にはいつ始まってもいいように準備をしている。一番困るのは、休業が延期して、いきなり課題の受け渡しをしなければならなくなる。課題の準備はしているが、いつどのように課題を受け渡しするのか生徒に伝えるのが大変。

教員の出勤を8割減にしなければならず、テレワークをしてもらっている。しかし各教員の家庭のネット環境によってはパソコンを使えない時もある。また、仕事内容、方法にもかなり制限が多く、手続きも多い。給食調理員や、管理作業員にもテレワークの許可がようやく出た。業務内容の見直し等をしてもらっている。

やはり子どもが学校に来て顔を見ないとわからないことが多い。家庭訪問も感染予防でできない。課題の受け渡し日は生徒が取りに来るので、唯一の顔合わせになる。

区役所：やむをえない状況になったら区役所で訪問する。何かあればすぐに相談してほしい。